



教育目標

- げんきな子
- よくかんがえる子
- なかよくする子

令和8年 1月6日

January 6, 2026

園長 河合 晴美

Principal

Harumi Kawai

1月園だより



スローナレッジをもち 前へ進む

園長 河合 晴美

新年あけましておめでとうございます。

皆さんにおかれましては、穏やかに新年を迎えたことだと思います。冬季休業の15日間は、ゆったりと過ごすことができましたでしょうか。

幼稚園では年末に園舎前のフェンスが外れ、緑鮮やかな小学校校庭の芝生が目の前に広がりました。真新しいふさふさの芝生は、きっと子どもたちの気持ちを高揚させ、走ったり、寝転がったりして全身で喜びを味わう姿となることが目に浮かびます。暖かい日差しがたくさん降り注ぐ戸外でたくさん遊び、3学期も元気いっぱいに楽しい毎日を過ごしていきます。



さて、私たちは2学期末の園内研究会で、講師の先生から「スローな保育を」という助言をいただきました。情報化社会によるICT等の技術の進歩に伴い、情報や知識の伝播や共有の時間が速くなっている中で逆に「スロー」という言葉が注目され、ゆっくりゆったり、じっくりととらえ考えること、多様な人との対話を楽しみながら生まれる保育を指しているということでした。慌ただしいのが当たり前と思っていた生活の中で、立ち止まり考えさせられた言葉でした。その関連で「スローナレッジ(slow knowledge)」という言葉もあります。スローナレッジとは、時間をかけて深く理解し蓄積される知識を指し、迅速に得られる知識「ファストナレッジ」に対することを指しています。

2学期を振り返ると、子どもたちが見つけたたくさんの不思議や驚きは、私たちも共に心が躍りました。そこでは、知らなかったことが分かる喜びや新しいことを見付ける楽しさを味わいました。まさに今を共有しながら少しづつ積み重ねていった宝物であり、新しい自分を切り開くためのエネルギーとなりました。情報過多の時代に急がず慌てず深い理解に必要となる栄養をたくさん持ち、迎える3学期の生活では、よりじっくり興味や探索を深め、密度の高い日々を過ごしていきたいと思います。

今年は、午年(うまどし)です。力強さや成長、行動力や前進を意味する干支です。年の初めに気持ちを新たに、明るい気持ちで進んでいける、新しい自分を見付けられる年になりそうです。南山幼稚園は、幼児・保護者・地域がつながり、笑顔がひろがる幼稚園を目指しています。その中で「やってみよう」「なんとかなる」「ありがとう」「ありのまま」というウェルビーイングの視点で、一步一步確実に進んでいきたいと思います。

今年もどうぞよろしくお願ひいたします。



